

鶴彬生誕100年

ワーキングプアが訴える共通の叫び

とうきょうと川柳会代表 松尾仙影



鶴彬 100年の軌跡から

■時代の復習

今年が生誕100年と、太宰治や大岡昇平、松本清張が取り上げられています。100年前の明治42年頃と、どんな時代だったのでしょうか？ここで取り上げる鶴彬(つる・あきら)も同じく生誕100年の人です。何を残した人物なのでしょう？

■鶴彬の誕生

喜多一二(きた・かつ)は、日本海に面した北陸の金沢から能登を結ぶ街道、石川県高松で生まれました。大正から昭和初期まで過ごします。機織物業の伯父の養子となつて、尋常高等小学校を卒業します。師範学校への進学はかなえられませんでした。学歴のないこと

は不況下の大阪や東京での職探しには、さらに不利になったようです。早くから石川啄木の詩に共鳴し、小学生の頃から北國新聞の子供欄に短歌や俳句を投稿していました。川柳家からの勧めで、15歳で柳壇に投稿するようになったりします。

最近、公立の学校教師には、入学式や卒業式に日の丸や君が代への敬礼や斉唱を強制されています。クビをかけての反対はできないものです。自分から軍隊にすんで入ったわけじゃないという思いが喜多にはあります。大阪の衛戍監獄(大阪城)に投獄され、真冬の凍り水のなかに素裸で押し込まれる水牢といった拷問も受けたといわれます。

第二次世界大戦から60年の今日、アメリカのサブプライムローンの破綻から発した世界同時不況に遭遇しています。国内では収入を上回る財政が組まれ、国家予算の10%の国債が発行されています。自民党政権が否定される「歴史的大敗」が鮮明になり、年金生活者やリストラ・失業の嵐の中にさらされています。

産し、大阪の町工場で働くなどしますが、うまくいかず、プロレタリア文化運動にも関わります。入営して半年目の陸軍記念日、連隊長による軍人勅諭の場で、「連隊長がどの質問があります！」と進み出て、「もし、上官の命に誤りがあった場合は、従わねばならないのですか？」といった発言をしたそうです。重兵倉へ入れられることが重なり、「無産青年(日本共産主義青年同盟の機関紙)」を配布する事件となり、

鶴彬の生誕100年を記念し、ドキュメンタリードラマ「鶴彬」が完成。全国を巡回し、1カ月が経ちますが、予算2千万足らずのカンパに頼る実行委員会方式の90分映画です。監督は「ラストゲーム 8、Eメール senryu.usnp@yahoo.co.jp」(鶴彬イベント世話人)

「環境を知らぬ草の実こぼれ合い」という信子の代表句は、1937年の作です。夫の剣花坊亡き後も、川柳冊子「川柳人」(蒼空(あおぞら))を発行し続け、治安維持法違反で逮捕されたりもします。

一昨年、川柳界では「川柳発祥250年」のイベントを行いました。今回、川柳だけでなく、鶴彬の存在を知ってもらおうという運動も生まれました。

10月2日には、剣花坊の墓がある鎌倉の建長寺で、この映画上映・シンポジウム・句会を開催することになりました。手弁当の仕掛けですが、内容は濃いものです。この機会に川柳の一端に触れてみてください。問い合わせ先は、建長寺川柳シンポジウム実行委員会 ☎03・35330・8558 8、Eメール senryu.usnp@yahoo.co.jp

21歳で徴兵制により金沢連隊に入営します。それまでに養父の機屋は倒

これより前、喜多一二は東京・杉並に住む川柳中興の祖と呼ばれる井上剣花坊(いのうえ・けんかほつ)と、その妻・信子に私淑します。柳名も

映画では榎山文枝さんの信子役が全体をまとめる印象を与えています。

◎鶴彬 100年の軌跡から

◎連隊長、質問がありませう！

◎暗い明日

◎静かな夜口笛の消え去る寂しさ

◎食堂があっても食えぬ失業者

◎エノケンの笑いにつづ

◎剣花坊・信子との出会い

◎万歳とあけて行った手の

◎鎌倉の舌がとどこぬ

◎地下の蟻

◎10月に鎌倉でイベント

◎鶴彬の存在をアピール